

**SONY**  
make.believe

# Interim Report

2011年3月期 中間報告書

## 株主の皆様へ

### 目次

株主の皆様へ ▶ 01

業績ハイライト ▶ 02

ビジネス別  
営業の概況 ▶ 04

主要連結  
財務データ ▶ 15

株式の状況 ▶ 16

株主メモ ▶ 17

### 株主の皆様への 情報提供について

1年に2回、株主の皆様のお手元にお届けしている「報告書」に加え、当年度より四半期毎に、当社ホームページの投資家情報ウェブサイトにおいて「電子ブック版報告書」を発行いたします。

電子ブック版では、読みやすさのほか、新作映画作品の予告映像をお楽しみいただけるような工夫を取り入れてまいりますので、ぜひご覧ください。

株主の皆様には、ますますご清栄のこととおよこび申し上げます。

ソニーグループの2010年度上半期(2010年4月1日から9月30日まで)の連結業績は、為替の悪影響があったものの、事業構造改革の進展による売上原価率、販売費及び一般管理費比率の改善などにより、前年同期の営業損失から大幅に改善し、黒字に転換することができました。

今後につきましては、円高の進行、景気の減速懸念、価格競争の激化など、引き続き厳しい事業環境が予想されますが、中核事業の競争力強化に注力するとともに、3D関連事業やネットワークサービスなどの新規事業の展開を着実に進めてまいり所存でございます。

なお、2010年度の間配当金につきましては、前年度の間配当金と同額の1株につき12円50銭とし、本年12月1日を支払開始日とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2010年11月



代表執行役  
会長 兼 社長 CEO  
ハワード・ストリンガー

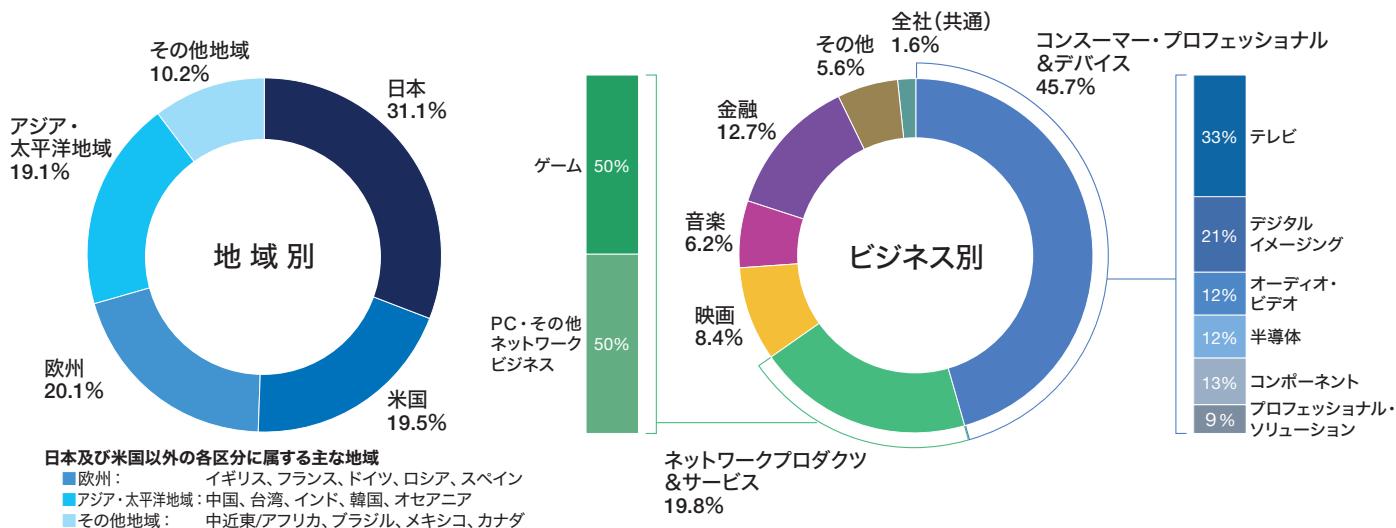
## 業績ハイライト

以下では、本年10月29日に発表した2010年度第2四半期(2010年7月1日から9月30日まで)の連結業績を中心に説明しています。

	2009年度第2四半期	2010年度第2四半期	増減率
売上高及び営業収入	1兆6,612億円	1兆7,332億円	+4.3%
営業利益(損失)	△326億円	687億円	—
税引前利益(損失)	△170億円	627億円	—
当社株主に帰属する四半期純利益(損失)	△263億円	311億円	—
平均為替レート(円/米ドル)	92.7円	84.9円	9.2%円高
平均為替レート(円/ユーロ)	132.2円	109.2円	21.1%円高

- ▶ 連結営業損益は、為替の悪影響があったものの、前年同期の損失から大幅に改善し、当四半期は687億円の利益を計上
- ▶ ゲーム事業及びPCの貢献があったネットワークプロダクツ&サービス分野が連結営業損益改善に大きく寄与
- ▶ 事業構造改革の進展により、売上原価率、販売費及び一般管理費比率が改善

## 売上高構成比

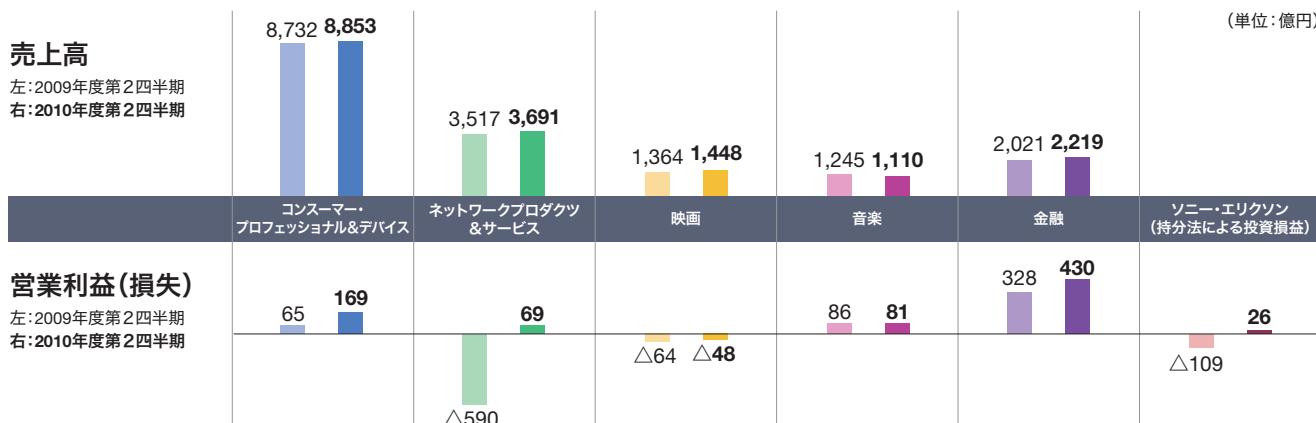


(注1) 地域別及びビジネス別の売上高構成比は、外部顧客に対する売上高及び営業収入にもとづいて算出したものです。  
 (注2) 地域別の売上高構成比は、顧客の所在地別に表示されています。

03

## ビジネス別営業の概況

以下の説明における各分野の売上高及び営業収入(売上高)はセグメント間取引消去前のものであり、また各分野の営業損益はセグメント間取引消去前のもので配賦不能費用は含まれていません。



(注1) ソニーは、2010年4月1日付の組織変更にとともない、2010年度第1四半期より、主にB2B & ディスク製造分野を従来構成していた事業を再編し、業績報告におけるビジネスセグメント区分の変更を行いました。この変更にとともない、2009年度第2四半期の実績を修正再表示しています。  
 (注2) ソニー・エリクソン(携帯電話事業の合併会社)の持分法による投資損益については、単独のセグメントとして表示しています。当四半期においては、費用削減施策の効果及びスマートフォンへの注力による製品ミックス改善の好影響により、前年同期の109億円の損失に対し、26億円の利益となりました。

04

## コンシューマー・プロフェッショナル&デバイス分野

テレビ事業、デジタルイメージング事業、オーディオ・ビデオ事業、半導体事業、コンポーネント事業、プロフェッショナル・ソリューション事業などで構成されています。

**売上高(8,853億円) 前年同期比1.4%の増加** (外部顧客に対する売上は前年同期比3.4%の増収)

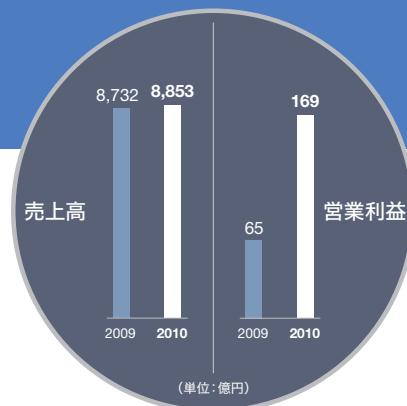
### 増収の要因

- 主に、販売台数が増加した液晶テレビの増収

**営業利益(169億円) 前年同期比158.7%の増加**

### 増益の要因

- 増収による売上総利益の増加、売上原価率の改善、構造改革費用の減少など
- 分野全体の損益変動にプラスの影響を与えたカテゴリー\*
  - デジタルシネマプロジェクター及びHD制作用の放送・業務用機器などの売上が増加したプロフェッショナル・ソリューション、イメージセンサーの売上が増加した半導体など
- 分野全体の損益変動にマイナスの影響を与えたカテゴリー\*
  - 販売台数が増加したものの価格下落の影響を受けた液晶テレビ、売上が減少したビデオカメラなど



\*構造改革費用を除くベース

05

## ネットワークプロダクツ&サービス分野

ゲーム事業及びPC・その他ネットワークビジネス事業で構成されています。

**売上高(3,691億円) 前年同期比5.0%の増加** (外部顧客に対する売上は前年同期比2.2%の増収)

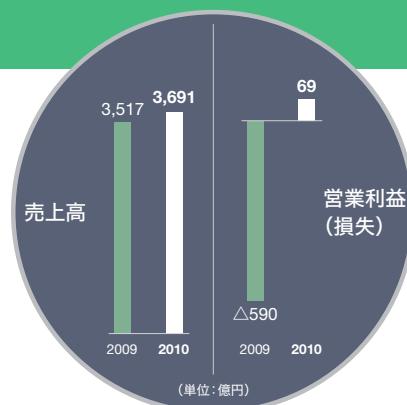
### 増収の要因

- 主に、商品力強化により全地域でシェアが拡大し売上台数が増加したPCの増収
- ゲーム事業全体では減収となったものの、当四半期に導入したPlayStation® Moveの好影響もあり、「プレイステーション 3」(PS3®)のハードウェア及びソフトウェアの売上高は増加

**営業利益(69億円) 前年同期比660億円の改善**

### 損益改善の要因

- 売上原価率の大幅な改善、増収による売上総利益の増加など
- 分野全体の損益変動にプラスの影響を与えたカテゴリー\*
  - ハードウェアのコストが大幅に改善し、売上高も伸びたPS3®が好調だったゲーム事業、増収となったPCなど



\*構造改革費用を除くベース

06



液晶テレビ(ブラビア)  
KDL-55HX80R

ブルーレイディスクドライブ・ハードディスクドライブ内蔵、3D対応、LEDバックライト搭載モデル。長時間・高画質録画に加え、3D放送の視聴や「ブルーレイ3D™」ディスクの再生に対応しています。

\*3D映像の視聴には、別売の「3Dシンクロトランスミッター」と「3Dメガネ」が必要です。



ブルーレイディスクレコーダー  
BDZ-AX2000

「ブルーレイ3D™」や多層大容量規格「BDXL™」に対応。起動速度やマルチタスク性能も向上させ、高機能と使いやすさの両立を実現しました。3D対応の高画質化回路「CREAS Pro」を搭載し、3D映像もより高精細、高階調でお楽しみいただけます。



デジタルカメラ「サイバーショット」  
DSC-WX5

AVCHDのフルハイビジョン動画撮影機能や、どのようなシーンでも最適な設定で高画質な静止画を撮影できる「プレミアムおまかせオート」に加え、世界で初めて\*3Dの静止画撮影機能を搭載しました。

\*単眼レンズ一体型デジタルカメラとして  
(2010年8月発売時点)



レンズ交換式デジタル一眼カメラ  
“α55”

世界で初めて\*光を通す透過ミラーを搭載し、秒間最高10コマの高速連写や動画撮影中でも作動する高速・高精度なオートフォーカスを実現しました。また、「3Dスイングパノラマ機能」により3D静止画を撮影することができます。

\*民生用レンズ交換式デジタル一眼カメラとして  
(2010年9月発売時点)



PlayStation®3専用ソフトウェア  
「グランツーリスモ5」

世界中のレースゲームファン待望の最新作が遂に登場。リアルな挙動、美しいグラフィック、1,000以上の収録車種、さらには3D立体視への対応など、シリーズ最大のボリュームと最高のクオリティでレースゲームの新時代を切り拓きます。

©Sony Computer Entertainment Inc. Manufacturers, cars, names, brands and associated imagery featured in this game in some cases include trademarks and/or copyrighted materials of their respective owners. All rights reserved. Any depiction or recreation of real world locations, entities, businesses, or organizations is not intended to be or imply any sponsorship or endorsement of this game by such party or parties. Produced under license of Ferrari Spa. FERRARI, the PRANCING HORSE device, all associated logos and distinctive designs are trademarks of Ferrari Spa. The body designs of the Ferrari cars are protected as Ferrari property under design, trademark and trade dress regulations.





**パーソナルコンピューター VAIO「Eシリーズ」  
VPCEB39FJ/W・B・P・L**

質感のあるデザインと豊富なカラーバリエーション\*を揃え、使い勝手に優れた快適な性能とブルーレイディスクドライブも搭載したスタンダードノートPCです。

\*グリーンとバイオレットは、VAIOオーナーメード限定色です。



**デジタルフォトフレーム  
“S-Frame” XRシリーズ DPF-XR100**

フルハイビジョンの動画ファイル再生\*に対応し、高画質な映像再生を実現。音楽再生にも対応し、音像の補正を実現する「スピーカー出力最適化機能」などにより臨場感のある音楽鑑賞も楽しめます。

\*AVCHD動画の再生には対応していますが、フルハイビジョンの解像度での表示はできません。

**“ハンディカム” NEX-VG10**

大判イメージセンサーと交換レンズによって、高画質で豊かな映像表現を実現した世界初\*のレンズ交換式HDビデオカメラです。美しいボケ味の映像や多様な交換レンズの性能を生かしたクリエイティブな映像を撮影することが可能です。

\*AVCHD記録民生用ビデオカメラとして  
(2010年9月発売時点)



**“ハンディカム” HDR-CX370V**

新開発の光学式手ブレ補正機能を搭載し、歩きながらの撮影に加え、ズームアップ撮影でも手ブレの少ない映像を実現しました。裏面照射型のCMOSセンサー“Exmor R”の搭載により、高品質な映像撮影が可能です。



**PlayStation®Move専用ソフトウェア「Beat Sketch !」**

PlayStation®Moveモーションコントローラをペンに見立て、テレビ画面に自由自在にラクガキことができ、ラクガキと同時に音楽を奏でるといって、新しい体験を楽しむことができます。「Beat Sketch !」は、子供から大人まで、みんなの創作意欲を刺激するPlayStation®Moveならではのクリエイティブ・エンタテインメントです。

©2010 Sony Computer Entertainment Inc.



**“ウォークマン”  
NW-S750シリーズ**

環境に応じて最適なモードを選択可能な「デジタルノイズキャンセリング機能」\*を搭載するとともに、歌詞表示機能や、ボーカル部分の音量を抑えてカラオケを楽しめる「カラオケモード」など、「ウォークマン」ならではの機能を強化・新搭載しました。

\*付属のヘッドホン、又は別売のノイズキャンセリング機能搭載“ウォークマン”専用ヘッドホンを使っているときにのみ有効です。周囲の騒音がまったく聞こえなくなるわけではありません。

## 映画分野

米国を拠点とするソニー・ピクチャーズ エンタテインメントによる映画及びテレビ番組などの事業で構成されています。

### 売上高(1,448億円) 前年同期比6.1%の増加

#### 増収の要因

- 劇場興行収入の大幅増収
  - 公開映画作品の好調、大型の公開映画作品数の増加

#### 当四半期の増収に貢献した大型の劇場公開映画作品

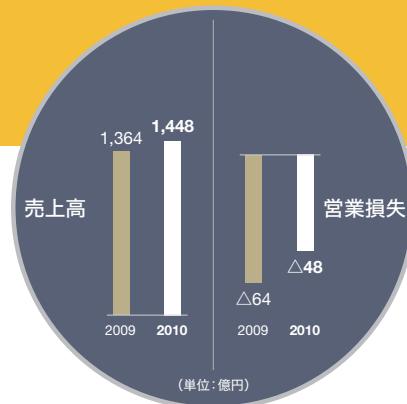
「ソルト」、「Grown Ups」、「バイオハザードIV アフターライフ」、「ベスト・キッド」、「The Other Guys」など

- テレビ番組の増収
  - 米国外のいくつかのテレビネットワークにおける広告収入及び視聴料収入の増加

### 営業損失(48億円) 前年同期比16億円の改善

#### 損益改善の要因

- 公開映画作品の好調、米国外のテレビネットワークにおける増収など



11

## 新作映画情報

▶電子ブック版では、下記の映画作品の予告映像がご覧いただけます。



### バーレスク

©2010 Screen Gems, Inc. All rights reserved.

バーレスク。それは夜毎ゴージャスなショーが繰り広げられるエンタテインメントクラブ。歌手の夢を抱く一人の女性が、抜群の歌唱力と突出したダンスの才能で、クラブを大盛況へ導いていく。グラミー賞に輝くトップスター、クリスティーナ・アギレラ初主演作品。

(2010年12月18日 日本公開予定)



### ソーシャル・ネットワーク

©2010 Columbia Pictures Industries, Inc. All rights reserved.

世界最大のソーシャル・ネットワーキング・サービス“フェイスブック”をハーバード大学寮の一室から始めた19歳のマーク・ザッカーバーグ。5億人の友達を創った男は、何を手に入れ、何を失ったのか。今なお急成長の続く巨大帝国の真実に迫る話題作。

(2011年1月15日 日本公開予定)



### ツーリスト

©2010 Columbia Pictures Industries, Inc. All rights reserved.

謎の美女に翻弄され、巨大な事件に巻き込まれていく一人の“ツーリスト”の運命は一。パリ、ヴェネチアを舞台に、華麗でセクシーな極上ミステリーをアンジェリーナ・ジョリーとジョニー・デップ、2大スターで魅せるサスペンス大作。

(2011年3月11日 日本公開予定)

12

## 音楽分野

米国を拠点とするソニー・ミュージックエンタテインメント及び日本の㈱ソニー・ミュージックエンタテインメントによる音楽制作事業などで構成されています。

### 売上高(1,110億円) 前年同期比10.8%の減少

#### 減収の要因

- 主に、前年同期においてマイケル・ジャクソンのカタログ作品の売上貢献が大きかったこと
- パッケージメディアの音楽市場の縮小、米ドルに対する円高の影響

#### 当四半期の売上に寄与した作品

YUIの「HOLIDAYS IN THE SUN」、加藤ミリヤの「HEAVEN」、西野カナの「to LOVE」、Yannick Noahの「Frontières」、サンタナの「ギター・ヘヴン〜グレイテスト・ロック・クラシックス〜」、Kenny Chesneyの「Hemingway's Whiskey」など



### 営業利益(81億円) 前年同期比6.1%の減少

#### 減益の要因

- 上記の減収の影響

13

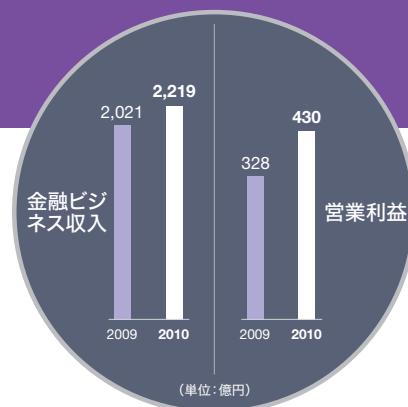
## 金融分野

ソニー生命保険㈱(ソニー生命)、ソニー損害保険㈱、ソニー銀行㈱を傘下におくソニーフィナンシャルホールディングス㈱(SFH)などによる金融事業で構成されています。

### 金融ビジネス収入(2,219億円) 前年同期比9.8%の増加

#### 増収の要因

- ソニー生命の増収
  - 一般勘定における有価証券売却益や保有契約高の拡大による保険料収入の増加など
  - 新契約の獲得は、好調な家族収入保険を中心に引き続き順調に推移



### 営業利益(430億円) 前年同期比31.1%の増加

#### 増益の要因

- ソニー生命の増益
  - 一般勘定における有価証券売却益の増加など

\*上記のソニー生命の業績は米国会計原則に則って算出されていますので、SFH及びソニー生命が日本の会計原則に則って個別に開示している業績とは異なります。

14

## 主要連結財務データ

	2008年度		2009年度		2010年度
	上半期	通期	上半期	通期	上半期
売上高及び営業収入	40,513	77,300	32,611	72,140	33,942
営業利益(損失)	845	△2,278	△583	318	1,357
税引前利益(損失)	702	△1,750	△500	269	1,416
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	558	△989	△634	△408	569
基本的1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円)	55.60	△98.59	△63.18	△40.66	56.68
設備投資額	1,848	3,321	1,051	1,927	861
研究開発費	2,566	4,973	2,090	4,320	2,060
総資産	129,724	120,135	124,738	128,661	130,098
純資産	36,945	32,166	31,684	32,856	32,189
1株当たり純資産(円)	3,419.98	2,954.25	2,872.48	2,955.47	2,871.12

(注1) ソニーは、持分法による投資損益を営業利益(損失)の一部として表示しています。

(注2) ソニーは、2009年4月1日から、連結財務諸表における非支配持分に関する会計基準にしたがい、表示及び開示に関してこの基準を適用しました。これにより、従来、連結貸借対照表上の負債の部と資本の部の中間に独立の科目として表示していた少数株主持分を、非支配持分として連結貸借対照表上の資本の部に含めて表示しています。また、連結損益計算書上の当期純利益(損失)は、非支配持分に帰属する当期純利益(損失)を含めて表示しています。この基準の表示に関する規定は遡及的に適用され、過年度の連結財務諸表を組替え再表示しています。

(注3) 純資産額は、米国会計原則にもとづく資本合計を使用しています。

(注4) 1株当たり純資産額は、当社株主に帰属する資本合計を用いて算出しています。

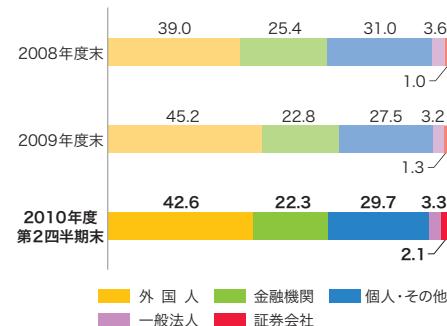
## 株式の状況 (2010年9月30日現在)

発行可能株式総数	3,600,000,000株	単元株式数	100株
発行済株式の総数	1,004,584,264株	上場証券取引所	東京・大阪・
株主数	725,811名		ニューヨーク・ロンドン

### 株式の所有者別状況

	2008年度末 (2009年3月31日現在)		2009年度末 (2010年3月31日現在)		2010年度第2四半期末 (2010年9月30日現在)	
	千株	名	千株	名	千株	名
■ 外国人	391,611	1,394	453,778	1,400	427,893	1,391
■ 金融機関	254,990	269	229,011	220	223,594	225
■ 個人・その他	311,695	755,092	276,703	686,311	298,525	719,997
■ 一般法人	35,954	4,419	32,310	3,906	33,575	4,097
■ 証券会社	10,286	68	12,770	64	20,997	101
合計	1,004,535	761,242	1,004,571	691,901	1,004,584	725,811

### 所有者別の持株比率(%)



▶大株主の状況は、投資家情報ウェブサイトの「株式・社債情報」をご覧ください。

# 株主メモ

## 配当金の口座振込のご案内

配当金のお受け取りには、ゆうちょ銀行又は郵便局で配当金領収証と引き換えに受領するほか、口座振込が選択できます。口座振込をご利用いただけますと、配当金の支払開始日にご指定の口座へ振り込まれ、迅速かつ確実にお受け取りいただけます。

- 口座振込には次の3つの方式があります。お手続きの窓口については、次頁の「株式事務に関するお問い合わせ先」をご参照ください。

### 株式数比例配分方式



配当金と株式資産を証券会社の口座で一元管理したい方に便利!!

証券会社の口座で配当金を受領する方式です。複数の証券会社で当社株式を保有している場合、証券会社ごとの保有株式数に応じた配当金がそれぞれの証券会社の口座に入金されます。

\* ご所有の株式の一部が特別口座に記録されている場合などには、この方式は選択できません。



### 登録配当金受領口座方式



配当金を1つの銀行口座で管理したい方に便利!!

保有するすべての銘柄の配当金を、指定した1つの金融機関の口座で受領する方式です。

- \* ゆうちょ銀行の貯金口座は指定できません。
- \* 1つの銘柄について振込先指定の手続きを行えば、自動的に他の銘柄の配当金も同一の銀行口座で受領できます。



### 個別銘柄指定方式

保有する銘柄ごとに指定した金融機関の口座(当社は、ゆうちょ銀行の貯金口座への振込指定も可能)で配当金を受領する方式です。

\* 銘柄ごとに振込先指定の手続きが必要となります。



## 株式事務に関するお問い合わせ先

株主様の各種お手続き(住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など)の窓口については、ご所有の株式が記録されている口座によって異なりますので、ご注意ください。

証券会社に口座を開設されている株主様	お取引口座のある証券会社にお問い合わせください。
「特別口座*」に記録されている株主様	当社の特別口座管理機関(兼 株主名簿管理人)である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

\* 株券電子化実施日(2009年1月5日)において「株式会社証券保管振替機構(ほふり)」をご利用でない株主様の権利を確保するために、当社が当該株主様の名義で開設した口座です。

## 企業情報などに関するお問い合わせ先

ソニー株式会社 IR部門 SR部  
〒108-0075 東京都港区港南1丁目7番1号

☎ 0570-010-222 (株主ナビダイヤル)

\*受付時間 9:30~17:30(土日・祝日及び会社休業日を除く)

\*全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

- 携帯電話・PHSなど、ナビダイヤルがご利用になれない場合: 03-6748-2111 (代表)

✉ Kabu\_net@jp.sony.com (株主Eメール)

## 投資家情報ウェブサイト

<http://www.sony.co.jp/IR/>

トップマネジメントからのメッセージや業績、新製品・新技術などの情報をタイムリーに提供しています。

## CSR(企業の社会的責任)ウェブサイト

<http://www.sony.co.jp/csr/>

企業の社会的責任に関する詳細情報をタイムリーに提供するとともに、その概要を簡潔にご報告する「CSRレポート2010 エグゼクティブ・サマリー」を掲載しています。



ソニー株式会社